

３校合同学校運営協議会

魅力ある学校とは ～熟議で見えた6つの視点～



① 合同会議の目的

3校の取組を共有し、互いの状況を理解することを目的として合同会護を開催しました。後半は意見交換を行い、3校で学び合う場となりました。



持続可能な学校運営協議会の体制づくり
3校の取組共有
学び合い・意見交換

年2回合同会議の第１回

② 熟議で見えた6つの視点

A 安心できる学校が魅力の土台



安心感が魅力の基盤
学校・家庭・地域が支える環境

B 魅力は「ある」だけでなく「伝える」ことが重要



大学のOPEN CAMPUSのようなPR
学校の特色や取組を積極的に発信
児童生徒交流の機会を増やす

C 家庭で学校の話題が生まれる学校



夕食時の会話
家庭で学校の話題が自然に生まれる
学校への親しみと幸福感につながる

D 育てたい子ども像が明確な学校



目指す子ども像が明確
学校・家庭・地域が同じ方向を向く

E 誰にとっても居場所のある学校



図書室や空き教室など多様な居場所
自然に集まり、交流・会話が生まれる
安心して過ごせる環境づくり

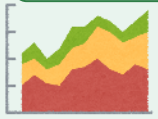
F 地域資源を生かした「楽しく、分かる授業」



教員の工夫
地域の自然・人材・行事を活用
9年間を通した学び

③ 成果とこれから

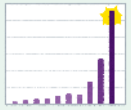
学校・家庭・地域がつながることで、子どもの成長を支える



家族と学校の話をする生徒が東京都・全国平均より高い



「先生が自分の良さを認めてくれる」に99%が肯定的



「将来、人の役に立つ仕事に就きたい」が非常に高い

多くの大人が関わって子どもを育ててきた成果だと考えている。今後も3校が連携し、子どもたちが将来笑顔で暮らせる社会を目指して、地域全体で子どもの成長を支えていきたい。



学校 × 家庭 × 地域 → 子どもの未来